

# 市議会11月定例会を開催

特集

いわき市議会十一月定例会が、十一月二十七日から十二月十一日までの十五日間の会期で開催されました。議会では、いわき市部設置条例の改正のほか、一般会計・特別会計・企業会計を合わせて、総額二百三十一億九千二百六十七万二千円に上る補正予算などが審議され、六十八議案が可決・承認・同意されました。

## 市長からの行政報告

### ○いわき市権利擁護・成年後見センターの設置について

国においては、少子・高齢化や核家族化が進行する中、一人暮らし高齢者や認



知症高齢者の増加に伴い、今後、成年後見制度の利用が増大するものと想定しています。

市は、平成二十六年九月に、県内の他自治体に先駆け、権利擁護全般に支援を行う専門機関として、同センターを保健福祉課内に設置しました。

設置以降、権利擁護支援については、虐待や困難事例などを担当している相談機関に対し、早期に権利侵害の状態から脱却できるよう専門的な見地から助言などを行ってまいります。

また、成年後見制度支援については、相談から申立て支援までをワンストップの窓口として対応し、円滑に市長後見申立てを行うなど、市民の皆さんや事業所などから寄せられる相談に



### ▶市権利擁護・成年後見センター開所式

対し、一貫した支援を提供しているところです。

### ○いわき市休日夜間急病診療所の移転整備に係る基本方針について

本市の休日および夜間の一次救急医療を担う休日夜間急病診療所は、現在、総合警域共立病院内に設置し

ていますが、同病院の建て替えを機に、移転整備の方向性について検討することとし、平成二十四年度に地域医療関係者からなる「いわき市休日夜間急病診療所整備検討会議」を設置しました。以来、同会議の検討に加え、いわき市医師会をはじめとする地域医療関係団体などの協議を重ね、平成二十六年十月に同診療所整備に係る基本方針を策定しました。

その主な内容として、まず、設置場所については、本市の医療・保健・福祉の拠点施設である、総合保健福祉センターの駐車場内としました。

さらに、診療体制については、これまで同様、内科と小児科の二診療科を維持するほか、一次救急医療機関としての役割が果たせるよう、これまでの体制を維持していきます。

今後は、平成二十八年十月の開院を目指し、基本設計などに着手していきたく考えています。

### ▶現在の休日夜間急病診療所



## 主な議案

### ○いわき市部設置条例の改正について

教育委員会が所管する幼稚園に関する業務を市長事務部局へ移管し、子ども子育て支援の包括的な実施を図るため、平成二十七年

度から、新たに「こどもみらい部」を設置します。また、平成二十六年六月に公布された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」に基づき、地方公共団体の長が設置することとなる総合教育会議に関する事務を、行政経営部の分掌する事務に加えるため、所要の改正を行いました。

### ○いわき市立小学校及び中学校条例の改正について

三和地区においては、少子化により学校の小規模化が進行する中、「三和町学校統合促進期成同盟会」が結成され、地域が主体となつて学校の再編について検討が進められてきました。

教育委員会としても、「学校のあり方基本方針」にのっとり、期成同盟会と連携しながら、地域住民やPTAの皆さん、学校関係者の方々や丁寧な協議を重ねてきました。

この度、地域の皆さんとの合意が図られたことから「三和地区『学校のあり方』」として取りまとめ、平成二十七年年度から、現在

の沢渡小と三和中を三和地区全体の学校と位置付けた上で、同地区の小・中学校を平成二十六年年度末に再編するため、所要の改正を行いました。

### ○(仮称)こども元気センター新築工事の工事請負契約について

子育て世帯が安心して定住できる環境を整え、地域の復興の促進を図るため、国の「福島定住等緊急支援交付金」を活用し、震災前に旧植田児童館を設置していた後宿公園内に、子育て支援拠点機能と屋内運動施設機能を併せ持つ施設を整備するものです。



### ▶(仮称)こども元気センターイメージ

## 利用しやすく 平十五丁目駐車場の夜間時間帯の使用料に上限額を設定

商工労政課商業振興係 ☎22-7476

2月1日(日)18時からの夜間時間帯(18時~翌日8時)については、上限額600円(1回の夜間時間帯ごと)を設けます。これにより、夜間の利用がしやすくなります。

なお、夜間時間帯以外の利用分については、これまでと同様に「30分までごとに100円」の使用料が別途加算されますので、ご注意ください。



## 表彰 いわき市民スポーツ栄誉賞

昨年6月に開催されたアース・モンダミンカップで、女子プロゴルフツアー初優勝を飾った本市出身の酒井美紀選手に、市民スポーツ栄誉賞を授与し、活躍をたたえました。

この初優勝という快挙は、全国に大きく報道されるとともに、復興に向かう市民の皆さんに、明日への勇気と活力を与えてくれました。

なお、酒井選手は、昨年9月に行われた大会でも優勝し、2勝目を挙げられました。



初優勝を飾った大会の表彰式で笑顔を見せる酒井選手